



「家庭教育を実践する日」

News Letter

令和8年9月号

家庭で育む 働く喜び

育もう！子どもの勤労観

子どもの勤労観を（働くことへの意味や意欲）を家庭で育むには、日常生活の中で小さな経験の積み重ねが最も効果的です。

●家庭内での役割を与える

家庭は子どもが最初に経験する「小さな社会」です。簡単なことでよいので、その子だけの係（例：靴ならべ、配膳など）を作ります。その経験が責任感を養います。

●感謝の言葉を具体的に伝える

お小遣い（対価）も一つですが、精神的な報酬（感謝）を実感させます。「ありがとう！〇〇で気持ちいいね」と具体的に伝えることで貢献する喜びを知ります。

●親が働く姿や社会とのつながりを見せる

「今日、こんなことがあって嬉しかったよ」とポジティブに話します。身近な働く人は、子どもにとって一番のモデルです。

●ご家庭で簡単に実践できる取組を毎月紹介しています。

育もう！子どもの職業観

【小中学生将来就きたい職業（株）アデコ2026.2】

男子：野球選手、サッカー選手、動画投稿者

女子：パティシエ、先生、看護師

子どもたちのなりたい職業には時代を映す多様な夢が詰まっています。挑戦を肯定し、結果より気持ちや行動をほめ、子どものよさやがんばりを認めましょう。そして、子どもが関心をもった分野は親子で一緒に“深掘り”してみましょう。多様な体験を通して、子どもたちの可能性と世界を広げてみませんか。

＜体験を応援する県の事業（詳細はHP）＞

- ・子どもの参観日 [男女共同参画推進課]
- ・福祉の職場体験バスツアー [高齢福祉課]
- ・親子しごと体験教室 [労働雇用課]

「どんな仕事も誰かの役に立っている」ことを子どもとの関わりの中で大切にしていけるとよいですね。

親子で職業体験！子も親も学びがいっぱい！

子どもたちが「将来こうなりたい！」という夢や目標を持つことは、とても素敵なことです。その夢や目標が明確にある子どもたちは、「学び」の中に「楽しさ」を見出せます。子どもの興味関心を広げることはもちろん、親が子どものことを知る機会、子どもが親のことを知る機会にもなりますね。



【“福祉の職場体験バスツアー”の体験レポートから】

学校でもらったチラシを見て「参加したい！」と思い、お母さんと一緒に来ました。普段はなかなか介護施設の中や職員さんの働く姿を見る機会がないので、参加してよかったです。今日のイベントのために、職員さんが工夫を凝らして準備してくださったことが伝わりました。こういう人たちがいる職場なら、楽しく働けそうと思いました。

※体験レポートは岐阜県介護情報ポータルサイト“ぎふkaiGO！”から引用しています。

●家庭教育を実践する日とは？

「家庭の日（毎月第三日曜日）」と「早く家庭に帰る日（8のつく日）」を合わせた日です。9月は8日、18日、20日、28日です。

●家庭教育に関するご相談は

岐阜県 県民生活課 生涯学習係
TEL 058-272-8752

このNewsLetterは
岐阜県HPにも掲載しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/13009.html>



★PDF等のデジタル版であれば、👉のある画像やQRコードをタップすると、動画やWebページのリンク先を開くことができます。